

Life
Support
TEDAKO

QSK

令和7年10月 秋号 No.251

発行部数 3,000 部

NPO 法人ライフサポートてだこ 代表/髙原 満

〒901-2126 沖縄県浦添市宮城 3-13-12

Tel. 098-875-2557 Fax. 098-875-2666

E-mail: lstedako@yahoo.co.jp HP: <http://www.lstedako.com/>

ひだまり通信

小規模多機能ホームあん

小規模多機能ホームあんでは毎月季節の行事や地域交流等の楽しいイベントを企画しています。

♪ 地域交流楽しんでいます ♪

★大平自治会バーベキュー会★



美味しいお肉! ま～さん!

大平自治会の「懇親バーベキュー会」へ参加させていただきました。この日はあんのだかし屋もオープンさせていただき、自治会の皆さんとユンタクを楽しみながらあっという間に時間が過ぎていきました。

★あん夏祭り★



幼稚園や学童の子ども達を招待しての夏祭りを開催しました。利用者さんに質問をしてスタンプを貰うスタンプラリーや金魚すくい、ヨーヨー釣り、輪投げ遊び等で子ども達と素敵なひと時を過ごしました。お昼ご飯は利用者さんリクエストのから揚げ、焼きそば、アメリカンドッグ等お腹いっぱい食べて皆さん「美味しい!」と満面の笑みでした。

♪スマイル通信♪ from テイサービスセンターえん

ご好評！！爪がオシャレに…？👀

ある日の余暇時間に利用者の皆様とネイル教室！👁️
透明・紫点・桃色の中から利用者様に似合う色や
好きな色を選んでもらい、女性職員が丁寧にネイルを施しました🌸
完成したネイルの色を見て「私はこの色かね～？」
「あなたは紫が似合いそうね」「あなたの爪綺麗ね～」
と和気あいあい大盛り上がり！！
完成したネイルを見て、皆様とてもお顔がほころんでいました😊
ご家族からも好評で、私たち職員も嬉しく思います😊
またの開催をお楽しみに…🎈



フラネタリウムをみたよ
この世界は不思議が
いっぱい♡



みんな大好き
わくわく発見タイム



嘉手志川
いい気持ち！



警察署★敬礼



浦添の

歴史を学ぼう！！



学生ボランティアさん
ありがとうございました

こっこだけのほ・な・し

厳しい夏も過ぎ、秋風が心地よい季節になりました。夏まつりでは、子どもたちの元気なマツケンサンバやピニャータ(メキシコのくす玉)で盛り上がりました!!ご家族のみな様および地域の皆様、ご協力ありがとうございました。

さて夏休みを乗り越え、仲を深めているこっこの子どもたちは、11月の運動会に向けて運動遊びや楽器遊びに意欲を燃やしています♪
今年のテーマは鼓笛隊♪心を一つにリズムが奏でられるか楽しみです!!

☆こっこ親子運動会☆

2025年11月29日(土) 10時～12時

サンアビリティーズうらそえ



高齢者の総合相談窓口 浦添市地域包括支援センター ライフサポート

9月21日はアルツハイマーデー



この日は、アルツハイマー病や認知症への理解を深め、支援を考える大切な日です。

今年も、企業様に依頼をしてアルツハイマーデーに関する飾付けのご協力頂きました。ありがとうございました。

毎年、事業所の外壁に壁紙を掲示し普及啓発を行っています。

浦添市地域包括支援センター ライフサポートでは

「認知症になってからも、一人ひとりが個人としてできることや、やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間などつながりながら、希望をもって自分らしく暮らし続けることができる」

事を地域の人と一緒に目指せたらと思っています。



浦添市地域包括支援センター ライフサポートでは、職員を募集しています！ 詳しくはお電話ください。（☎ 098-875-2560）

ライフサポートてだこ
ホームページ



浦添市地域包括支援センター
ライフサポート



@RAISAPO.URASOE

障がい児デイサービス
こっこ



KOKKODEI

小規模多機能ホームあん



YouTube



@SHOUKIBO_ANNE

デイサービスセンターえん



DAYSERVICE_ENN

ヘルパーステーションりん



@HERUPASUTESHIYONRIN

和顔愛語・起きて半畳寝て一畳

私のおばあは今年で102歳。炊事洗濯も現役で、二足歩行も問題ありません。そんなおばあ、思いついたらすぐに連絡してきて、挨拶もそこそこに「ちょっと来て！」と呼ばれることもしばしばです。今すぐ対応できない旨を電話で言い訳している途中、気づけば受話器を置かれて通話終了。かなりマイペースですが、102歳まで元気でいられるのは、そのくらい自己主張がしっかりしているからだと思います。平日仕事中であることを「想像しろ」と言ってもさすがに伝わりませんが、そんな日常の中でも、私は想像力の大切さを感じずにはられません。

最近、介護支援専門員（ケアマネジャー）の資格更新研修で、運営のお手伝いをする機会がありました。受講生200名以上の研修は、出席管理や入室トラブル、音声やネットの問題、行方確認、時間管理など、多岐にわたり、限られた人数での対応は、想像以上に大きな負担でした。オンライン研修は便利で柔軟ですが、開始ギリギリの入室やトラブルが重なると、運営側の負担は予想以上に大きくなることを実感しました。受講者として参加していたとき、もっと運営側の立場を想像し行動していれば、余計な手間や迷惑をかけずに済んだと反省しました。この経験から、参加者としてどう動くかを考えることの大切さを改めて学びましたが、組織やチームでも同じことが言えます。部署ごとに立場や役割が異なる中で、意見の食い違いや問題は避けられません。そんなときに必要なのは、相手の立場や状況を想像し理解しようとする力です。自分の視点だけで判断すると誤解や摩擦が生まれますが、相手の考えや行動の背景を想像することで、建設的な対話や協力が可能になります。チームの仲間一人ひとりを大切に思う気持ちと、想像力を働かせて行動することが、信頼関係を築き、組織全体を円滑に動かす土台になるのだと思います。

今回のおばあとの日常と研修運営の経験から想像力はただの思考力ではなく、仲間を大切にするチームを作るための力だということです。仲間がどんな状況で、どんな考えを持ち、何を必要としているかを想像すること。それを行動に反映することが、チームの強さを生み、仲間同士の信頼を深めます。日常の些細なやり取りも、研修運営の緊張感も、どちらも私に想像力の大切さを教えてくれました。仲間を思いやり、大切にする心を持って行動することで、チームはより強く、より温かくなるのだと実感しています。

ライフサポートてだこ代表 髙原 満